

## 活動の記録 (1期生の皆さん) <平成18年3月~9月>

17年度に応募された1期生の皆さんは、以下の講習・実践活動でレベルアップを行いました。

### 植樹: 3月25日(土)



雨天での順延となった当日は、参加者が31名と大変少なく、少ない人数で、斜面に、ヤマザクラとクヌギ苗合計約1000本を植えました。植え付けた桜が花をつけるようになるのに5年?、クヌギからシイタケの原木がとれるようになるのには、さらに10年?くらいかかるのでしょうか?気の長い話ですが、大切に育てていきましょう。

勺(しゃく)で間隔を測りながら、植え付け位置を決めていきます。



全員で、手際よく植え付けます。

#### ボランティアの声

今回の活動は、植樹。でも記念行事によくある植樹と同じと思っていたら、これが大間違い。植え付ける場所は凸凹した斜面だし、土を掘れば竹の太い根や石に阻まれるし...「これまでで一番キツイ作業だったかもしれない」というのが、班員全員の感想でした。

それにしても、木の苗が足元に落ちていた枯れ枝と見分けがつかないほどあまりに貧弱で、これが本当にちゃんと木になるの?という不安は、正直拭い切れません。できれば、半年くらいして成長ぶりを見たいものです。2年目は作業もレベルアップするそうですが、がんばって、でも楽しくやって行きましょね、皆さん。(1班 高倉)

クワの本数が少なく、皆さんには、大変ご迷惑をおかけしました。これに懲りずに、2年目もがんばってくださいね。(担当)

### 伐竹: 6~9班 5月25日(木)、1~5班 6月10日(土)

初めての伐竹は、平成14年に植樹をした場所に毎年生えてくる若竹の除伐を行いました。若竹といっても、タケノコの皮が少し残っているものの、高さは、3m~5mはあり、そのまま放っておくと竹林となってしまうために、毎年行う伐竹も大切な作業です。この作業を5~6年ほど繰り返していくと竹の勢いが衰え、だんだんと生えてこなくなるということも学びました。



2人組になって作業を行います。チームワークも大切です。

作業の後に食べた野いちごは、大変甘く、山からのご褒美のようでした。



#### ボランティアの声

(5/25)

久しぶりのすばらしい天気恵まれ、曲淵ダム周辺の色とりどりの新緑を満喫しながら、作業現場へと向かいました。

伐竹場所まで何度も足を滑らせながら着き、作業上の注意事項について説明を受け、伐竹を開始しました。天まで伸びた今年の新竹は思っていたより簡単に切る事が出来ましたが、急斜面での作業だったので足場の確保と安全確認の大事さを身をもって体験できた伐竹でした。次回もガンバルゾー (6班 樋口) (6/10)

伐竹は初めての体験でしたが、今春勢いよく伸びた新竹は鋸で簡単に切れ作業もどんどん進みました。天気もよく、斜面上での作業しにくい場所でしたが、結構快適にすすみ、約2時間の伐竹作業は予定通り終わることができました。

作業後に見渡すと、あたり一面ひらけて、植林された幼木たちが目だっていました。伐竹作業後は、こちよよい疲労感にひたりました。(2班 松尾)

若竹ということで、伐竹作業自体は、皆さん難くこなされていましたが、急な斜面や腰まで伸びた雑草や雑木をかき分けながらの作業は大変だったと思います。それでも、予定の範囲(各約1ha)は思ったより早く終了し、植樹地も、皆さんの顔も晴れ晴れとしていました。(担当)

### 下草刈り&交流会: 9月2日(土)

水源林ボランティアの実践活動として、初めて、筑後川上流の大大分県日田市中津江村で開催された「200海里的森づくり(下草刈り)」に参加しました。

中津江村では、水源林ボランティアのほか、屋形原2区町内会や福岡市労働組合連合会、筑後川下流域の大川市ボランティアの皆さんなど総勢約300名が、下草刈り作業を行うとともに、作業後は、地元の料理やバーベキューなどを囲み、交流を行いました。



中津江村は、緑に覆われた山間の静かな村です。



各班に分かれ、下草刈りで爽やかな汗を流しました。



交流会では、ワールドカップカメルーンキャンプの誘致で有名となった、前村長で、(財)中津江村地球財団の坂本理事長のあいさつがありました。



作業後のバーベキューはうまいなあ。



皆さんいい笑顔でした。

作業場所で見つけたヤマジノホトトギス。その美しさは、一瞬の清涼剤のようでした。



#### ボランティアの声

本日の活動で、他のボランティアグループとの交流はあまりありませんでしたが、お昼のバーベキューの時は、他の班の方達との話がはずみ、とても良いランチタイムになりました。やはり、お酒が入ると皆さんおしゃべりになるのかと思い、楽しい一時でした。

また、今日のような機会があれば、是非参加したいと思っています。(3班 ベンネーム)

多くの団体が参加する大きなイベントで、他の団体や地元の皆さんとゆっくり交流する時間がなかったのは残念でしたが、ボランティアの皆さん同士では、今までにない交流の一時だったようです。

中津江村の皆さんはとても親しみやすく、次回訪れる時は、是非地元の皆さんとのふれあいを楽しんでください。(担当)

### ステップアップ講習

1期生の皆さんは、ボランティア講習2年目を迎え、忘れてはならないことや今後の活動に必要なと思われる事項など、さらにステップアップのための講習を行いました。

日時:平成18年5月13日(土)  
場所:水道局7階大会議室  
講習内容:

- 水源林の管理
- 安全な作業(間伐、伐竹)
- 応急救護、安全管理



AED(自動対外式除細動器)についても学びました。

